

平成21年(行コ)第261号 公金支出差止等請求控訴住民訴訟事件  
 控訴人 秋山博外15名  
 被控訴人 群馬県知事外1名

証拠説明書(甲B第181~187号証)

2014(平成26)年2月10日

東京高等裁判所 第11民事部 御中

控訴人訴訟代理人弁護士 福田 寿 男

| 番号    | 文書名  | 作成日        | 作成者          | 立証趣旨等  | 備考 |
|-------|--|------------|--------------|--|----|
| 甲B181 | 告発状  | 平成23年6月10日 | 告発人代理人野本夏生ほか | 国土交通省関東地方整備局河川部河川計画課長が、昭和55年に策定された利根川水系工事実施基本計画における目標流量(基本高水)を計算する際に設定した前提条件について、さいたま地方裁判所から調査囑託を受け、これに回答するに際し、内容虚偽の回答書を作成、行使したとして、虚偽有印公文書作成、同行使罪で告発されたこと。 | 写し |
| 甲B182 | 告発受理証明書  | 平成24年8月3日  | さいたま地方検察庁    | 甲B181を提出してなされた告発について、さいたま地方検察庁が平成24年8月1日付で受理し、捜査が開始されたこと。  | 写し |
| 甲B183 | 回答「河川流出モデル・基本高水の検証に関する学術的な評価」参考資料6「新モデルによる洪水流出計算の再現に関する報告」 | 平成23年9月1日  | 日本学術会議       | (財)国土技術研究センターの流出解析システム(二槽モデル)は、有効降雨量に基づいて計算すれば、国土交通省の新モデル(一槽モデル)と同等の計算結果が得られることを示していること。   | 写し |
| 甲B184 | 利根川の基本高水の検証について 別添資料2-16                                   | 平成23年9月    | 国土交通省        | 各洪水の有効降雨量の算出に必要なf1、R0、Rsaの値が示されていること。  | 写し |
| 甲B185 | 利根川の実績流量に関する質問主意書  | 平成24年7月9日  | 衆議院          | 利根川・八斗島の各洪水の実績流量は、二通りの値があることと、その是正措置が問い質されていること。   | 写し |

|       |   |            |       |   |    |
|-------|---|------------|-------|---|----|
| 甲B186 | 利根川の実績流量に関する質問に対する政府答弁書                             | 平成24年7月17日 | 衆議院   | 利根川・八斗島の各洪水の実績流量は、国土交通省の学術会議への報告値と、国土交通省の流量年表の値が違っていることなどが示されていること。 | 写し |
| 甲B187 | 河川流出モデル・基本高水評価検討等分科会（第9回）資料11「新たな流出計算モデルの構築(案)について」 | 平成23年6月8日  | 国土交通省 | 国土交通省の新モデルにおいて所定の手順でパラメータが求められているのは、利根川・八斗島上流域の39分割流域のうち、8流域しかないこと。 | 写し |

以上